

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしやかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第7期 第1年 第1回 第1日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2008 (平成20年) 年4月20日 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 22名

きん そんみ こう ういがぶ ごん すみのり ちよう よんじえ ぼく へすく うえだ しんしや きよう こう
金 成美、高 義甲、権 純徳、趙 龍濟、朴 海淑、上田 馨霞、姜 弘、
きん ばい すずき しんきん ちよう がくほう ふるや ふみこ しょう ほん たかほし ろ き ばらーど べるふえ、
金 蓓、鈴木 新琴、張 学峰、古谷 史子、楊 帆、高橋 ロサ、パレード ベルフエ、
なかもり じゅりあ みどり、たおわん きつてい ちやい、えろっく はりまー、
中森 ジュリア みどり、タオワン キツティチャイ、エロック ハリマー、
もっ はまど あすり、ゆなズ イサヌル あふでい、あでいかり スディーブ、
モツハマド アスリ、ユナズ イサヌル アフディ、アディカリ スディーブ、
せんだ まりあ な おあな くしゅた おれな
千田 マリアナ オアナ、クシュタ オレナ

(2) 事務局

きくち きよくちよう おの でら しつちよう かめだ しゅかん きよた しゅかん あおやま しゅかん いしかわ しゅかん
菊地 局長、小野寺 室長、亀田 主幹、清田 主幹、青山 主幹、石川 主幹、
たかむら しゅかん にしやま かちよう ほさ おがわ しゅさ みたむら しよくいん しぶや せんもんちようさいん
高村 主幹、西山 課長補佐、小川 主査、三田村 職員、渋谷 専門調査員

4 傍聴者 13人

5 会議次第 (公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 委嘱状交付

(4) 市民・子ども 局長 あいさつ

(5) 事務局紹介

(6) 代表者自己紹介

(7) 正副委員長選出

(8) 年間日程確認

(9) 事務連絡

(10) 閉会

6 議事等の経過

【局長の挨拶】

きよくちよう かわさきし すで まんにいじよう じんこう こ がいこくじんしんみん す にほん
局長 「川崎市には、既に3万人以上、人口の2%を超える外国人市民が住んでいる。日本
こくない おお ちほうから あつ まった ひと たちが く らして いる まち である。かわさきし
国内からも多くの地方から集まった人たちが暮らしている町でもある。川崎市ではいろ
ぶんか ぶんぞく こくせき ちが ひとびと たが みと あ じんけん
ろな文化や民族、国籍の違いを豊かさとして生かし、すべての人々が互いに認め合い、人権
が 尊重され、自立した市民として、ともに暮らしていくことができる多文化共生の社会を
めざ がいこくじんしみんだいひょうしやかいぎ ちいきしやかい めん ばー がいこくじんしんみん
目指している。外国人市民代表者会議は、地域社会のメンバーである外国人市民のさまざま

まな意見^{いけん}を市政^{しせい}に生かし、ともに生きる地域社会^{ちいきしやかい}をつくることを目的^{もくてき}として、本市^{ほんし}が1996年に条例^{じょうれい}で設置^{せっち}した。今年^{ことし}で12年^{ねん}、第7期^{だいしちき}を迎えた。これまで代表者会議^{だいはうしやかいぎ}では、外国人^{がいこくじん}の住みやすい町^{まち}は日本人^{にほんじん}も住みやすいというスローガン^{すろーがん}のもと、意見^{いけん}をまとめてこられた。川崎市^{かわさきし}は、代表者会議^{だいはうしやかいぎ}の意見を尊重^{そんちょう}し、それぞれの担当部局^{たんとうぶきょく}に割り振り^{わりぶん}、市政全体^{しせいぜんたい}の取り組み^{とりくみ}に生かしてきた。これから2年間^{ねんかん}、特別職^{とくべつしやく}の地方公務員^{ちほうこうむいん}として、川崎市^{かわさきし}に住むすべての外国人市民^{がいこくじんしみん}を代表^{だいひょう}して、活動^{かつどう}していただく。会議^{かいぎ}の中では、皆様^{みなさま}が日ごろ感じるさまざま^{ひごろかんじるさまざま}な問題^{もんだい}について、十分に話し合^{はな}い、時間^{じかん}をかけじっくりと調査・審議^{ちゆうさしんぎ}をしていただきたい。」

【代表者の自己紹介】

委員^{いいん} 「県内大学院^{けんないだいがくいん}に在籍^{ざいせき}。社会福祉^{しやかいふくし}と外国人^{がいこくじん}の問題^{もんだい}について研究^{けんきゅう}。外国人^{がいこくじん}の福祉^{ふくし}に関して話し合^{はな}いたい。」

委員^{いいん} 「第6期^{だいしちき}に引き続いて、今回は2期目^{にほんご}。第6期^{だいしちき}のときに討議^{とうぎ}されたいろいろな懸案^{けんあん}が、今後立派^{こんごりつぱ}に必ず実^みがなるようにと決意^{けつい}して代表^{だいひょう}になった。」

委員^{いいん} 「日本で生まれ、日本の学校^{にほんがっこう}を卒業^{そつぎょう}、中身^{なかみ}は日本人^{にほんじん}。ただ、両親^{りょうしん}を含めてルーツ^{ふく}は異なる。こういった社会活動^{しやかいかつどう}・地域活動^{ちいきかつどう}はあまり^{あま}しなかったことがない。自分のできることに精^{せい}いっぱい力^{ちから}を發揮^{はつぱい}していきたい。」

委員^{いいん} 「私は、日本語^{にほんご}でしゃべるとおり、日本語^{にほんご}を母語^{ぼご}とする。川崎生まれの川崎育ち^{かわさきうまれのかわさきそだち}。ただ両親^{りょうしん}に関してはそうではない。ニューカマーとオールドカマーの中間^{にゅーかまーおーるどかまーちゆうかん}に立てる立場^{たちば}ではないかと自負^{みづか}している。そういう意味^{いみ}では、この第7期^{だいしちき}を通じ、いろんな問題^{もんだい}を皆^{みな}で解決^{かいげつ}できればと思う。」

委員^{いいん} 「2期目^{にほんご}、この第7期^{だいしちき}では、第6期^{だいしちき}とまた違う意味^{ちがういみ}で頑張^{がんば}りたい。第6期^{だいしちき}で頑張^{がんば}ったことをベース^{べーす}にして、新たな出発^{あらなしゅつぱつ}としてできるのではないかとと思う。皆^{みな}それぞれ違^{ちが}い、私もまた違う出発^{ちがしゅつぱつ}ということで、この日本^{にほん}の中で、少しずつ違^{ちが}うこと、同じものを見^みつけたり、違^{ちが}うものを楽し^{たの}しみにしたり、そういうことができると思う。」

委員^{いいん} 「第6期^{だいしちき}の経験^{けいけん}を生かし第7期^{だいしちき}の代表者^{だいはうしや}を務^{つと}めたい。」

委員^{いいん} 「私は母語^{ぼご}とか母国^{ぼこく}の文化^{ぶんか}を理解^{りかい}するのは、子ども^{こども}の人格^{じんかく}の成長^{せいちょう}にとってとても重要^{じゅうよう}だと思うが、親^{おや}だけの努力^{どりよく}は限度^{げんどう}がある。ゆえに行政^{ぎょうせい}と協^{きょう}力^{りよく}するのは不可欠^{ふかけつ}である。このことを実現^{じつげん}できるように、第7期^{だいしちき}の代表者^{だいはうしや}を続^{つづ}けたいと思う。」

委員^{いいん} 「1999年に来日^{ねん}、9年目^{らいにち}。日本語学校^{にほんごがっこう}を卒業^{そつぎょう}後、大学^{だいがく}へ。3月^{がつ}より川崎市^{かわさきし}のあるIT関係企業^{かんけいきぎょう}に勤務^{きんむ}。」

委員^{いいん} 「5年前^{ねんまえ}に来日^{らいにち}。現在は夫^{おと}と子ども^こ3人で暮^くらす。日本語クラス^{にほんごくら}の先生^{せんせい}に紹介^{しょうかい}され参加^{さんか}。頑張^{がんば}りたい。」

委員^{いいん} 「第6期^{だいしちき}より2期目^{にほんご}。頑張^{がんば}った分^{ぶん}をもっと頑張^{がんば}りたいと思って、第7期^{だいしちき}にも入^いって努力^{どりよく}しようと思う。15年前^{ねんまえ}に日本^{にほん}に2年間^{ねんかん}留學^{りゅうがく}。」

委員^{いいん} 「代表者^{だいはうしや}になることは、自分自身^{じぶんじしん}にとって7年ぶり^{ねん}の社会復帰^{しやかいふっき}であり、楽しみ^{たの}みであ

るが、同時に非常に責任を感じる。普通の生活の中に、これがあればというような、何か気がついたところについて皆で話し合っていきたい。外国人の住みやすい川崎市に貢献できればと思う。」

委員 「第6期より第2期目。川崎市に2000年より8年在住。学生から社会人になった。これからも多文化共生の社会にできるように、責任感を持って、ささやかな力でも貢献できればと思う。多文化理解の教育について話し合いたい。」

委員 「2人の子供の母親とNPOスタッフを務める。」

委員 「来日19年、第6期より2期目。第6期でできなかったもの、やりたくてできなかったものが第7期でできるように、頑張りたい。」

委員 「ボランティアグループに参加しており、外国籍の子どもたちのいろいろな問題を聞いており、解決できるように、子どもの教育に関して取り組みたい。」

委員 「大学生。知らないことなど、まだたくさんあるので、皆で頑張っていきたい。」

委員 「来日7年目。大学院で日本文学を研究。現在は会社勤務。」

委員 「来日2年目、大学生。この会議ははじめてなので、いろいろ教えていただきたい。」

委員 「来日7年目、大学院生。第6期より2期目。第6期の経験を生かして、まだできないことをこれからもやっていきたい。」

委員 「来日8年目、日本の大学を卒業し企業に勤務。川崎市には4年間在住。日本のいろいろなことを学びながら、自分からもできることをやっていきたい。」

委員 「第6期より2期目、川崎市のいいまちづくり、頑張りたい。」

委員 「過去2期参加。10年前に来日し川崎市に8年在住。外国人にとって日本の生活の環境や、福祉と健康について、話し合いたい。」

【正副委員長の選出】

<<選出方法>>

<仮議長の選出>

(室長が仮議長を務める) (→挙手全員) ●承認

<会議の成立>

仮議長 「本会議は川崎市外国人市民代表者会議条例第8条に基づき、代表者の皆さんの半数以上の22人が出席しているので、この会議は成立。」

<正副委員長の役割>

事務局が資料に基づき、正副委員長の選出に関する確認事項について説明。

<採決>候補者について

- 立候補者がいる場合、推薦は受け付けない。(→挙手なし)
- 立候補者がいる場合でも推薦は受け付ける。(→全員挙手) ●b. に決定
- その他の提案なし

<採決>推薦について

- a. 推薦された人は必ず候補者になる。(→ 挙手なし)
- b. 推薦された人は候補者になることを辞退することができる。
(→ 全員挙手) ● b. に決定
- c. その他の提案なし

<採決>候補者が1人の場合の選出方法

- a. 信任投票(用紙にて○、×で投票)(→ 挙手19) ● a. に決定
- b. 挙手(手を挙げて承認をしていただく)(→ 挙手3)
- c. その他の提案なし

<採決>候補者が1人の場合、過半数の信任が得られない場合について

- ① もう一度立候補推薦を募る(→ 全員挙手) ● ①に決定
- ② その他の提案なし

<採決>候補者が2人の場合

- a. 無記名投票(→ 挙手19) ● a. に決定
- b. 挙手(→ 挙手3)
- c. その他の提案なし

<採決>投票用紙の書き方

- ① 名前、姓名の両方を書く(→ 挙手1)
- ② 番号を書く(→ 挙手14) ● ②に決定
- ③ 名前と番号を両方書く(→ 挙手1)
- ④ 名前と番号のどちらかを書く(→ 挙手6)
- ⑤ その他の提案なし

<採決>無効票について

- ① 白票(→ 挙手21) ● 可決
- ② 決まった書き方以外の方法で書かれていた場合(→ 挙手12) ● 可決
- ③ 複数の番号、もしくは名前が書かれていた場合(→ 挙手20) ● 可決
- ④ 書かれていた内容が読み取れない場合(→ 挙手19) ● 可決
- ⑤ 番号と名前が一致しないもの(→ ②の可決により採決を行わない)
- ⑥ その他の提案なし

<採決>過半数に満たない場合の再投票について

- a. 候補者全員についても一度投票(→ 挙手0)
- b. 上位2人の決戦投票、または挙手を行う(→ 挙手21)
- c. その他の提案なし

仮議長 「これで委員長を選ぶことができると思うが、何か意見はあるか」

委員 「過半数に満たない場合には、再投票前に候補者が一言述べていただいたらどうか。」

かりぎちよう いじよう いげん で いぎ
仮議長 「以上の意見が出たが、異議はあるか」

かりぎちよう けつせんとうひよう
仮議長 「では決選投票になったときには、それぞれスピーチをしていただき進めることにする。」

きいけつ ふくいんちよう せんしゆつ
＜採決＞副委員長の選出について

かりぎちよう た ていあん
仮議長 「その他の提案はあるか」

いん かいぎんちよう せんきよ じてん こうほ ふくいんちよう
委員 「委員長選挙の次点の候補が副委員長になったらどうか」

かりぎちよう あん
仮議長 「ではその案をc. とする。」

- a. かいぎんちよう せんきよ とおなじ ほうほう ふくいんちよう せんきよ おこな
委員長選挙と同じ方法で副委員長選挙を行う (→ 拳手18) ● a. に決定
- b. かいぎんちよう しめい
委員長が指名する (→ 拳手0)
- c. かいぎんちよう せんきよ じてん こうほ ふくいんちよう
委員長選挙の次点の候補を副委員長とする (→ 拳手4)

いんちよう せんしゆつ
＜＜委員長選出＞＞

かりぎちよう だい き がいこくじんしみんだいひようしゃかいぎ いんちよう
仮議長 「それでは第7期外国人市民代表者会議の委員長をいよいよ選出したい、立候補、推薦はあるか」

りつこうほ
＜立候補＞

なし

すいせん
＜推薦＞

ちようよんじえ しやうだく
趙龍濟 (→承諾)

ぼくへすく しやうだく
朴海淑 (→承諾)

とうひよう
＜投票＞

かりぎちよう ちよういん ばん ぼくいん ばん
仮議長 「趙委員を1番、朴委員を2番とする」

ばん ひよう
1番 (→ 16票) ● 1番当選

ばん ひよう
2番 (→ 6票)

かりぎちよう ちよういん ひよう ぼくいん ひよう かはんすう こ
仮議長 「趙委員が16票。朴委員が6票、過半数を超えているので、委員長は趙委員とする」

ふくいんちよう せんしゆつ
＜＜副委員長選出＞＞

りつこうほ
＜立候補＞

なし

すいせん
＜推薦＞

ぼくへすく じたい
朴海淑 (→辞退)

ゆなず いきぬる あふでい じたい
ユナズ イサヌル アフデイ (→辞退)

えろく はりまー しやうだく
エロクハリマー (→承諾)

ようはん じたい
楊帆 (→辞退)

せんだ まりあな おあな じたい
千田 マリアナ オアナ (→辞退)

とうひよう しんにんとうひよう
＜投票＞信任投票

○ (→ 17票)

× (→ 4票)

無効 (→ 1票)

仮議長 「○が17票。×が4票。無効が1票。過半数12人以上の信任を得たので副委員長はエロック委員とする」

趙委員長 「皆さんの推薦や支持をいただいたので、私自身、できる限りのことを皆さんと協力しながら、頑張っていきたいと思う、ぜひご協力をお願いします。」

エロック副委員長 「わからないところばかりだと思うが、皆さん、ぜひご協力をお願いします。」

仮議長 「会議の進行を委員長、副委員長にお願いします、本当に協力感謝する。」

【年間日程の確認】

事務局 「年間8回の会議、およびオープン会議の日程を資料2のように提案する。」

委員長 「この会議日程でよいか採決を取る」

<採決>

会議日程案を承認 (→ 全員賛成) ●資料2の会議日程案を承認

委員長 「2008年度第1回第1日、川崎市外国人市民代表者会議を閉会する。」

(午後4時閉会)